

桜島まると学校



ヒアリング報告

1. 基本設計におけるヒアリングまとめ

11/1-2/12/8にわたって島内全ての学校にヒアリングに伺うとともに、コミュニティ協議との街歩きや、中央公民館にて学校の未来をともに考えるWSを開催。

- ①子ども達からの意見をもとに多様な居場所を計画する。
- ②地域の方々からの意見をもとに、桜島公民館の併設を検討する。
- ③棟の配置を再検討する。動線空間の在り方を整理する。
- ④セキュリティに関するご意見が多かったため、どのような形でセキュリティを考えられるか検討する。
- ⑤賑やかな空間だけでなく、静かな空間も作る事ができるようにする。
- ⑥特別教室の在り方を工夫する。(スタジオのような部屋、土間の部屋など環境の違う部屋とする。道具をしまっておきフレキシブルに使える教室にする等)
- ⑦建築そのもののみならず、学びのあり方についてもご意見をいただいたので、建築を考えると同時に新しい学びの在り方も模索したい。
- ⑧既存の学校の良い点や改善点、引き継いでいきたい点を提案に盛り込む。



桜島小学校



桜島公民館でのWS



桜島公民館



黒神・高免コミュニティ協議会



鹿洲中学校



東島島・改新コミュニティ協議会

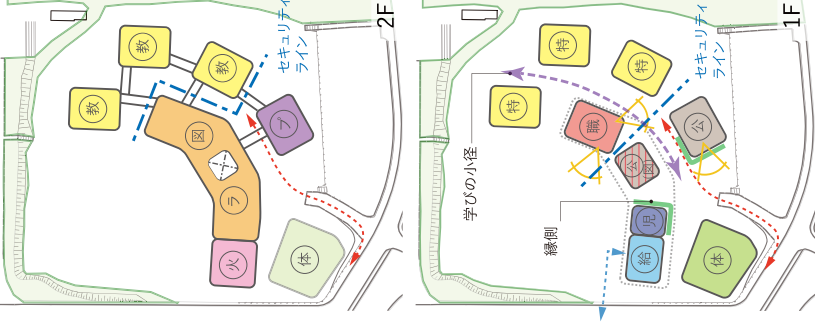
ゾーニングについて

2. 地域の方々在日常的に訪れたいくとも、子どもたちの学びに配慮した配置計画

ヒアリングを経て、全体ゾーニングを変更しました。

- 教室棟
- 図書館・ランチルーム
- 公民館
- 職員室
- 給食室
- 体育館
- 火山学習センター
- 児童館

- 緑割
- 子どもの通学動線
- 給食の搬入動線
- 視認できる範囲



- ・入口広場に面して公民館・公民館図書配置。地域の方々在日常的に訪れる、世代を超えた学びの場に。大人が子どもを見守れることもできる。
- ・地域開放部を明確にゾーニング。職員室から、来訪者やグラウンドに目が配れる配置。
- ・多目的ホールは交差点に配置し、地域に開かれた集会所としても利用できる。
- ・教室棟間の「学びの小径」は、子ども達が特別教室の多様な活動が垣間見える場に。
- ・給食室への搬入や児童の動線に配慮。
- ・温水プールからは錦江湾が見え、地域の皆さんがくつろげる場所になる。

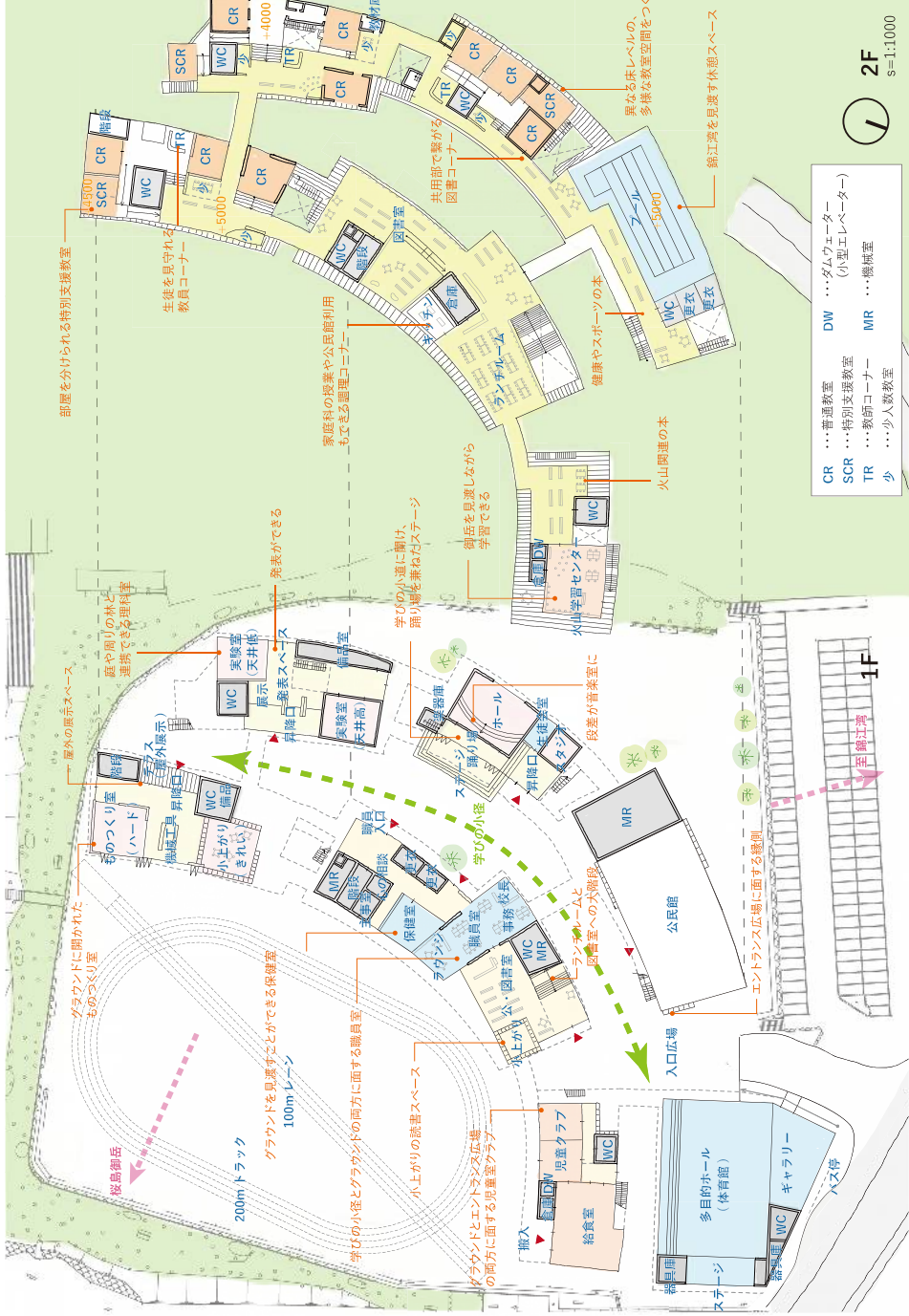
図書館の配置と空間

3. 子どもたち・地域の皆さんの学びの核となる図書館



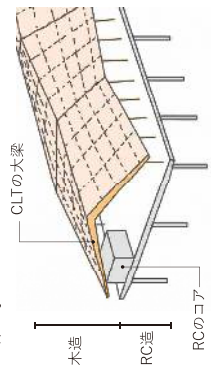
桜島御岳への眺望を確保し、学びの核となる図書館。

4. 学年や立場、年齢を超えて学びあえる、集落を超えて学びあえるような配置・平面計画



7. 連続する空間のダイナミックさを感じられる木造屋根

木架構が柔らかく波打つ屋根を検討。HPシエルの架構とスラストを防ぐRCコアが大空間を作る。

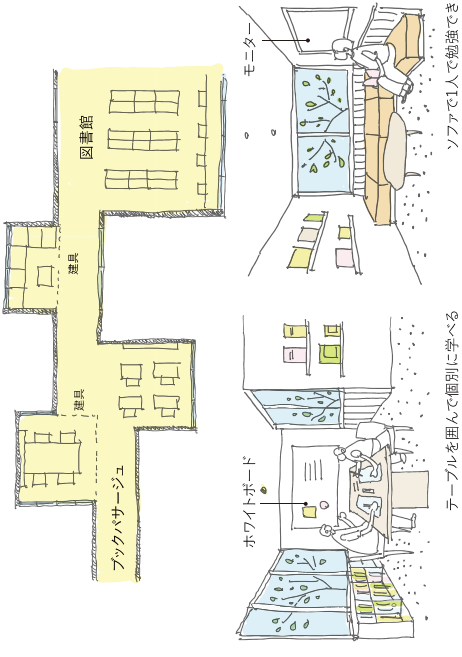


HPシエルの効果を利用したのびやかな木造屋根を検討中。



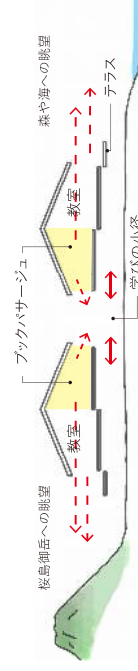
5. 各棟を結ぶブックパサージュと少人数コーナー

図書館がつつながり、各棟を結ぶ共用廊下は、学級文庫コーナーであると同時に建具で仕切って少人数に対応した多様な学びの場となる(ブックパサージュ)。大勢で学ぶことが苦手な子どもにとっては1人になれる落ち着いた場であり、休み時間には子どもたちの読書スペースや自主的な学びの場にもなる。将来的な人数の変化にもフレキシブルに対応できる。



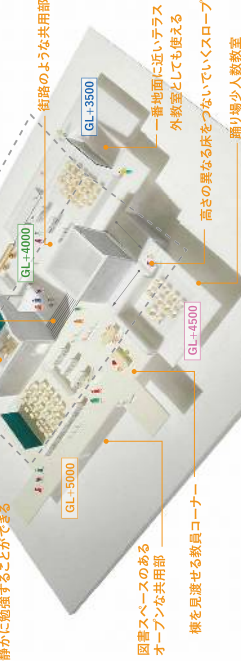
6. 静かな空間や賑やかな空間を併せもつ、街のような教室棟

ブックパサージュの床レベルを一番高くし、外への眺望に配慮。また、天井高に変化が生まれ、学びの小径に賑わいをつくる。オープンな部分とクロードな部分を大階段が繋ぎ、静かな空間や賑やかな空間を併せ持つ、街のような教室棟に。



- パブリックなフロア
- プライベートなフロア
- テラス
- 踊り場教室・スロープ

RC造の中に作られた教室は、静かに勉強することができる。



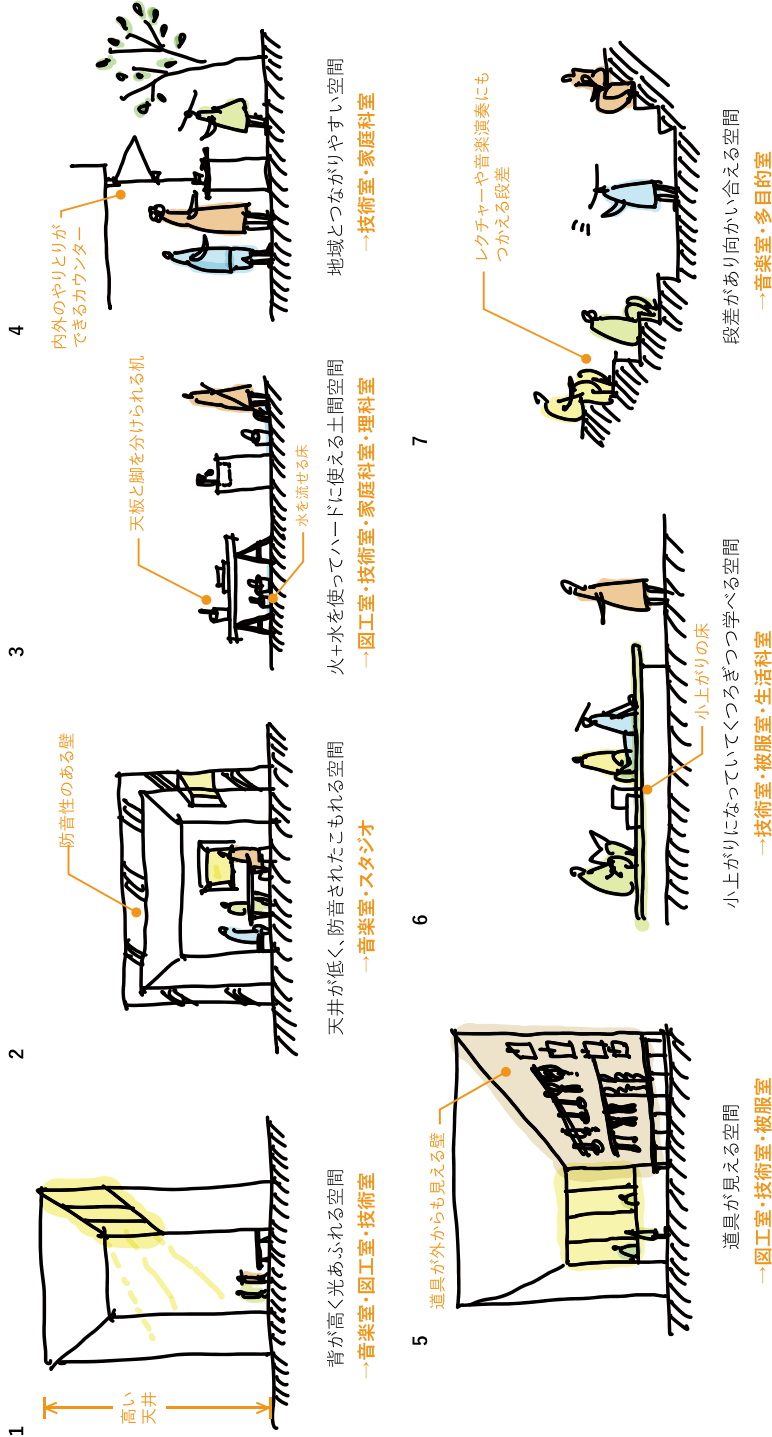
図書スペースのあるオープンな共用部
横を見渡せる教員コーナー
踊り場少人数教室

8. 環境的特徴の違いが、使い方を触発する特別教室

同じ形の教室に教科ごとの名前をあてはめるといふよりは、環境の性格が異なる部屋をつくることで、学び方にあわせた様々な使い方が考えられます。

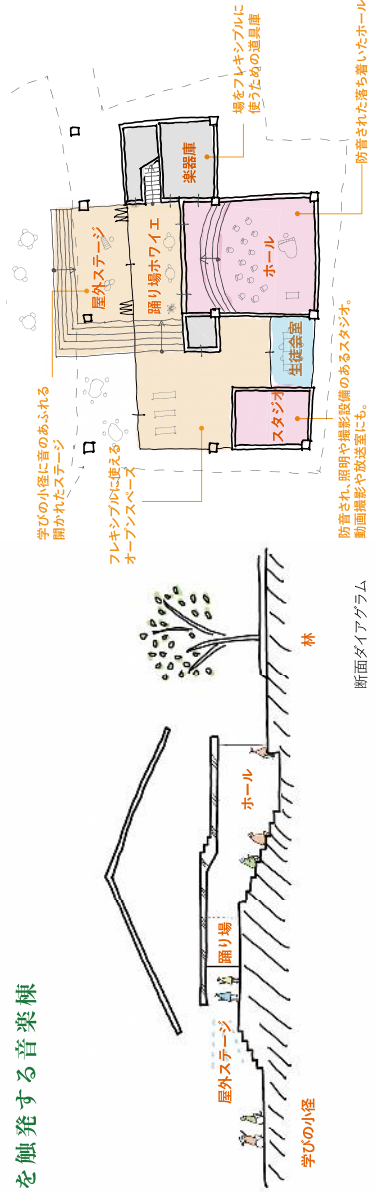
■ 必要な環境について

理科室(小・中)	→	水・火・機材	→	図工室	→	水・制作スペース	→	生活科室	→	多目的スペース
家庭科・被服室	→	水・火・機材	→	技術室	→	水・制作スペース	→	音楽室	→	気候、遮音や吸音



10. 地形的な空間が様々な活動を触発する音楽棟

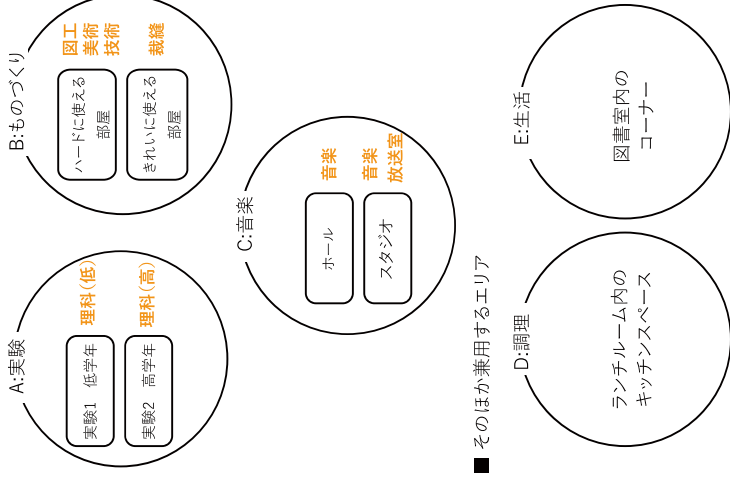
- ・学ぶの小径に面した屋外ステージは、先子が点呼したり、吹奏楽部が演奏を行ったりできるような場所になる。
- ・屋外ステージは2階までの階段の踊り場を兼ねる。
- ・林に向かって少し掘りこまれた空間は、音楽だけでなく多様な授業が行える大きなホールとなる。



9. 特徴的な3つの特別教室棟をつくる

特別教室の利用状況を分析し、実験・ものづくり・音楽の得意な、特徴的な3つの棟を作ること検討しています。

■ 3つの特別教室棟



■ そのほか兼用するエリア

